

放送ストリーミング情報掲載

放送ストリーミング情報【2026No.398】（HP 掲載）

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：アントニン・ドヴォルザーク

曲名：交響曲第9番ホ短調 op. 95 《新世界より》

演奏：ラハフ・シャニ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/56388>

2026年1月25日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



シャニがドヴォルザーク《新世界より》を指揮

1892年、ドヴォルザークはニューヨーク音楽院の院長に就任し、アメリカの国民的スタイルの確立という使命を担いました。その交響曲第9番《新世界より》には、アメリカの広大な風景や先住民の音楽的要素が織り込まれています。しかし、真にアメリカ音楽の礎を築いた作曲家とされるのはチャールズ・アイヴズであり、彼の謎めいた《答えのない質問》はアメリカ音楽史における画期的な作品となりました。本公演では、ラハフ・シャニ指揮のもと、第1コンサートマスター樫本大進の独奏により、ショスタコーヴィチのヴァイオリン協奏曲第1番も披露されます。

以上の他に下記が演奏されました。

チャールズ・アイヴズ 《答えのない質問》

ディミトリ・ショスタコーヴィチ ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調 op. 77 (op. 99)
樫本大進（ヴァイオリン）

アイヴズの《答えのない質問》は、初めて聴く曲で、しずかな弦をバックに、ときおり木管や金管が叫ぶように響きます。

ショスタコーヴィチのヴァイオリン協奏曲第1番は、これも初めて聴く曲で、神秘的なオーケストラをバックに、樫本大進のヴァイオリンの技巧的な演奏が展開していきま

す。

ドヴォルザークの交響曲第9番《新世界より》は、若いシャニの切れのよい指揮に応じてベルリンフィルのエネルギーが炸裂します。ここぞというところでは、イングリッシュホルンやフルートやクラリネットが静かに歌います。



LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、アイヴズとショスタコーヴィチの神秘的な表現の後、ドヴォルザークではエネルギーの炸裂や木管の牧歌的な演奏の個性が表現されていました。

以上